

# 未来の行田を担う子供たちを 守り育てる社会の実現を目指して



本市では、さまざまな子育て支援策を実施することで「子どもを生み育てやすいまちづくり」を推進しています。ここでは、最近の新たな取り組みを紹介いたします。

今後も、子育ての実態や保護者のニーズに耳を傾け、子育て支援策の充実と、質の高いサービスの提供に努めます。

## 子育て支援

◎地域子育て支援拠点施設の開設（平成19年度）

市内に3カ所の子育て支援センターと5カ所のつどいの広場を開設し、育児不安への相談指導や子育てサークルの育成など、地域におけるさまざまな子育て支援を行っています。

なお、今年度新たに子育て支援センターを1カ所開設する予定です。

### 「子育て支援センター」

和光保育園併設（なごみ）、太井保育園併設、児童センター併設（はすのこ）

### 「つどいの広場」

学童保育室併設（みなみ・ひがし・さくら・さきたま）、独立施設（みなみかわら）



子育て家庭の交流の場となっている子育て支援センター

◎民間保育所の待機児童対策および人材強化事業の実施（平成21年度）

保育所の入所待機児童ゼロを堅持するとともに、民間保育所の人材強化と若年層の雇用の安定化を図るため、民間保育所の定員拡大に伴う常勤保育士の新規雇用や、臨時保育士を正規雇用に転換した場合、その人件費の一部を補助しています。

◎民間保育所の定員拡大の促進（平成21・22年度）

定員を超える保育ニーズに対応するため、平成21年度に10人、平成22年度に10人の認可保育所の定員拡大を促進しました。

◎浮き城のまち・子育てジョイ・ハッピー事業の実施（平成21年度）

保護者の経済的負担の軽減と地域振興を図るため、第3子以降の児童の誕生を祝い、出産児童1人当たり3万6千円相当の「子育てハッピー券」を保護者に贈呈しています。子育ての楽しさを家族の皆さんで実感していただけるよう、出生児童が満1歳を迎えるまでの1年間、協賛店舗独自のお祝いセットを提供します。

## 保護者の就労支援

◎学童保育室の整備（平成19年度）

下忍学童保育室と荒木学童保育室を整備しました。現在、市内に12カ所の学童